



HP Latex 2700 シリーズ ジャンボ デュアル ロール キット シリーズ ユーザー ガイド

概要

製品の使用方法です。

このエディションについて

© Copyright 2022 HP Development
Company, L.P.

第 2 版、2022 年 12 月

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切の責任を負いません。

目次

1 はじめに	1
2 デュアルロール分割スピンドル セントラル サポート	2
セントラル サポートの組み立て	2
3 分割スピンドルへのロール紙の取り付け	3
ロール紙の取り付け手順	3
4 ロール紙の取り付け (ロールへの巻き取り設定)	5
ロールの取り付け	6
手動取り付け	7
5 セントラル サポートの保守	9
セントラル サポート ベアリングのクリーニングと注油	9
6 デュアルロール スピンドルの仕様	10

1 はじめに

このガイドでは、HP Latex 2700 シリーズ ジャンボ デュアルロール キット シリーズの設置方法および使用方法について説明します。

このアクセサリが HP Latex 2700 に取り付けられていると、プリンタでは大きな素材ロールを使用し、デュアルロール アプリケーションをプリントできます。

- ロール紙の最大幅：2×1.52m
- ロール紙の最大直径：400 mm
- 2つのロールの最大総重量：2×200 kg

インプットおよびアウトプット セントラル サポート用のデュアルロール分割スピンドルとすばやい結合により、大きい素材ロールを簡単に取り付けることができます。プリンタ操作者1人でよりすばやくかつ安全に作業できます。

デュアルロール アプリケーションを使用するには、HP Latex 2700 シリーズ ジャンボ デュアルロール キットをインストールする必要があります。以下のアイテムが同梱されています。

- 4つの半スピンドル
- 素材インプット セントラル サポート
- 素材アウトプット セントラル サポート
- 2つのアンカー キット
- 4本の予備脚部
- プレーン ダイバーター
- 2つのプレーン ダイバーター サポート
- 2つのプレーン ダイバーター サポート シム

プリンタの使用の詳細については、該当するユーザー ガイドまたはメンテナンスとトラブルシューティングのガイドを参照してください。

2 デュアルロール分割スピンドル セントラル サポート

以下のセクションでは、このトピックについて詳しく説明します。

⚠ **危険！** 指が巻き込まれる危険。

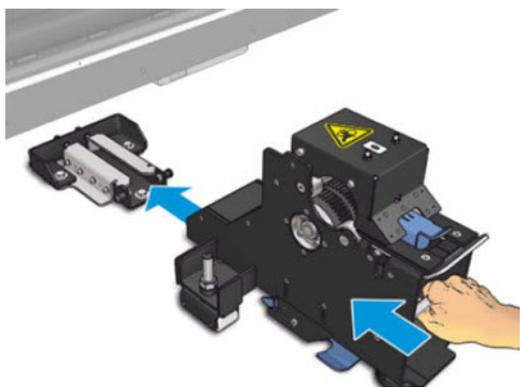
セントラル サポートの組み立て

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

デュアルロール分割スピンドルを使用して、2本のロール紙に同時にプリントすることができます。セントラル サポート分割スピンドル アセンブリの取り付けをチェックするには、『インストール ガイド』を参照してください。

 **重要：** 2つのデュアルロール セントラル サポートが用意されています。「I」ラベルが付いているサポートはプリンタのインプット側用で、もう一方の「O」ラベルが付いているサポートはアウトプット側用です。インプットおよびアウトプット側のセントラル サポートを対応するベースに取り付けるには、同じプロセスに従う必要があります。

セントラル サポート分割スピンドルをそのベースに取り付けるには、センター ポートの脚をベース ガイドに差し込み、ハンドルを押して端まで動かします。ベース フックが固定されていることを確認します。



セントラル サポートを取り外す場合、青いレバーを手で持ち上げて、セントラル サポートをしっかりと引いてそのベースから取り外します。

3 分割スピンドルへのロール紙の取り付け

ロール紙を取り付ける場合は、次の手順に従います。

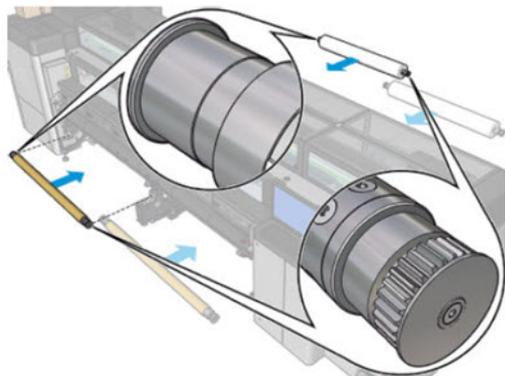
ロール紙の取り付け手順

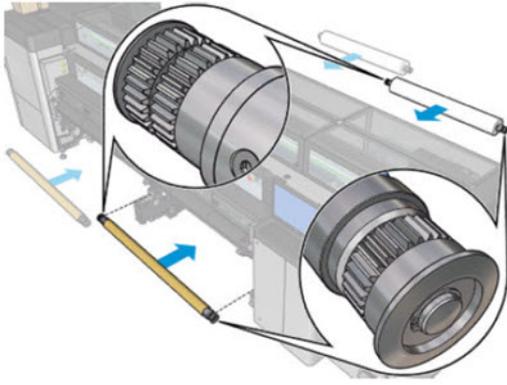
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。



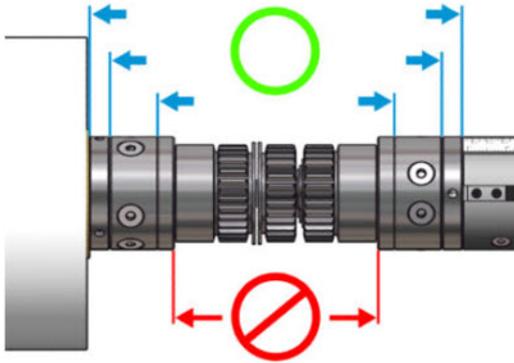
 **注記:** このビデオは、HP Latex 3500/3600 シリーズおよび HP Latex 2700 シリーズ プリンタに適用されます。

1. 最初のロール紙を一方の分割スピンドルに挿入します。
2. 次のロール紙をもう一方の分割スピンドルに挿入します。
3. 分割スピンドルをプリンタに取り付けます。





4. ロール紙をプリンタの中央に移動します。各ロール紙を、いずれかのスピンドルマークに沿って正確に配置します。インプットロールとアウトプットロールは、スピンドルのそれぞれの部分でまったく同じ位置に取り付ける必要があります。



5. エアガンを空気圧式コネクタに接続して、両端にあるバルブを膨らませます。

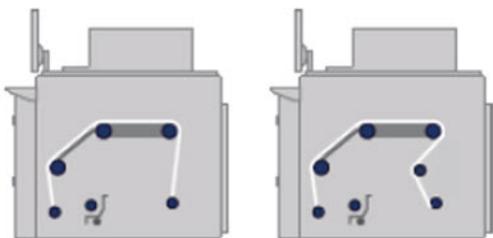
💡 **ヒント：**膨らませる前に、空気圧式ガンを使用し、バルブ領域の周囲に空気を吹いて汚れをすべてを取り除きます。

⚠ **警告！** プリンタに付属のエアガンは、スピンドルを膨らませることのみ想定しています。クリーニング目的で使用するときは、他の安全条項が適用される場合があるため地域の規定に従って使用してください。

表 3-1 デュアルロール分割スピンドルの仕様

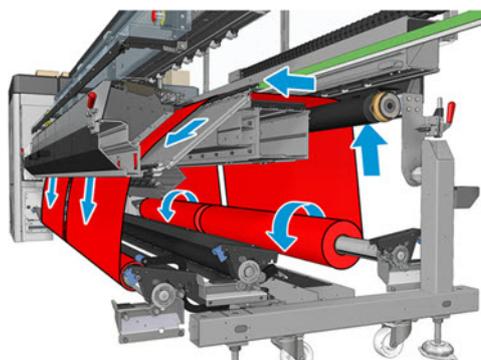
特性	仕様
ロールの最小幅	635 mm
ロール紙の最大幅	2 × 1.52m
ロール間の最小間隔	134 mm
ロール紙の最大直径	400 mm
2つのロールの最大総重量	2 x 200 kg

4 ロール紙の取り付け (ロールへの巻き取り設定)

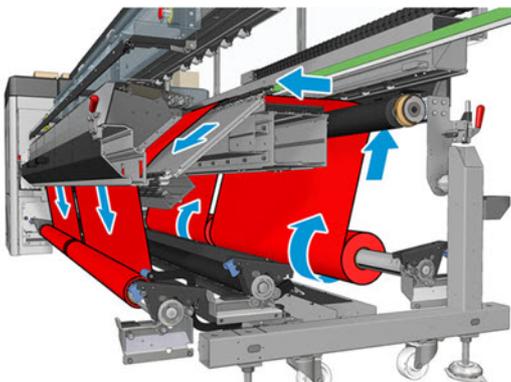


2つの素材のロールは背面のデュアルロール スピンドルに取り付けて、前面のデュアルロール スピンドルで回収します。素材はインพุットスピンドルからメインローラー上、プラテン上、フロントダイバーターを通して、アウトプットスピンドルに戻ります。

 **注記:** デュアルロールを使用している場合、最高のパフォーマンスを実現するには、ロールへの巻き取り設定を使用することをお勧めします。

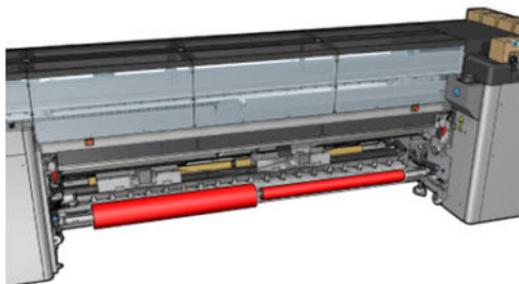


印刷面を内側または外側にして素材をスピンドルに取り付けることができます。その場合は、スピンドルが反対の方向を向きます。プリンタが巻き取り方向を自動的に検出できない場合は、巻き取り方向を尋ねるメッセージが表示されます。



プリンタに2つのロール紙を取り付ける前に、2つのロール紙を背面のデュアルロールスピンドルに取り付けて、2つの空の芯を前面のデュアルロールスピンドルに取り付ける必要があります。

ロール紙の長さが不均等である場合は、長い方のロール紙を、プリンタの正面から見て右側、つまり背面から見て左側に取り付ける必要があります。こうすることで、短い方のロール紙が切れても、もう一方のロール紙で印刷を続行できます。



 **注記:** 片方のロール紙が切れたら、左側にあるレバーを使用して、スピンドルの中央でディファレンシャルをロックしてください。

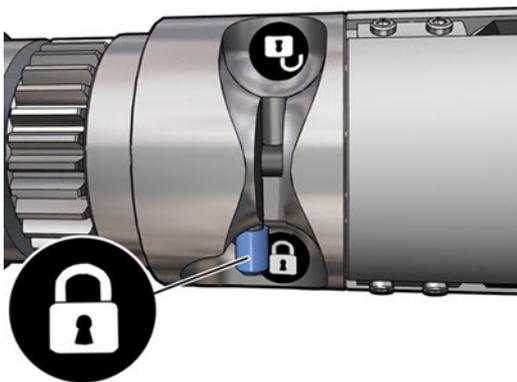
ロールの取り付け

デュアルロールを使用するには、まず取り付ける必要があります。

1. Internal Print Server に移動して、**[素材]**-[取り付け/取り外し] を選択し、次に正しい設定を選択します。
2. Internal Print Server で、素材の種類のリストから取り付けている種類を選択します。
3. 素材が取り付けられている場合は、素材の取り付け時にじゃまにならないように、印刷プラテンから素材のエッジホルダーを取り外します。

 **注意:** エッジホルダーの最上部に素材を取り付けようとすると、プリントヘッドとキャリッジが大幅に損傷する可能性があります。

4. 取り付け中は、ディファレンシャルをインプットスピンドルとアウトプットスピンドルにロックすることをお勧めします。



5. スピンドルの両端をプリンタ背面にある台の上に置きます。衝撃を吸収するために、プラスチックのパッドが取り付けられています。
6. 同じ方法で、空の芯を取り付けたスピンドルをプリンタ前面に取り付けます。ここでは、スピンドルのギア側の末端を右側にします。

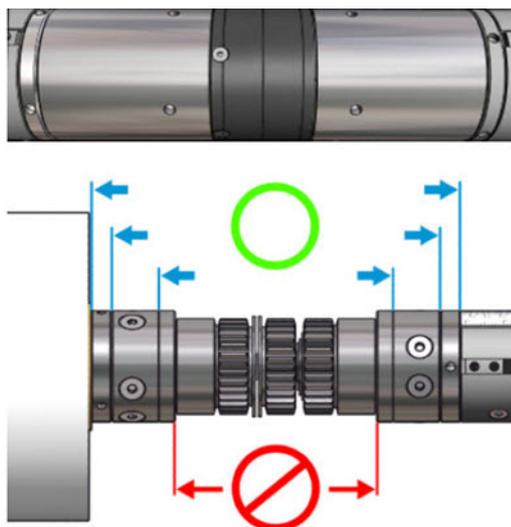
手動取り付け

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

 **注記**：デュアルロール設定では、補助型の取り付けを行わないことをお勧めします。

1. 内蔵プリントサーバーを使用して、キャリッジビームを取り付け位置まで上げるか、物理的なボタンを使用します。
2. 前面ドアと硬化モジュールを開きます。
3. 取り付けテーブルを開きます。
4. インพุットスピンドルのディファレンシャルのロックを解除します。
5. 1つ目のインพุットロールから素材をある程度取り出し、印刷領域に置きます。
6. 1つ目のロールから取り出した素材を、アウトพุットスピンドルに達するまでプリンタに押し込みます。
7. 2つ目のインพุットロールから素材をある程度取り出し、印刷領域に置きます。
8. 2つ目のロールから取り出した素材を、アウトพุットスピンドルに達するまでプリンタに押し込みます。
9. 素材の先端が、インพุットスピンドル上とアウトพุットスピンドル上で同じ位置にあるかどうかを確認しながら、素材の位置を調整します。これは、スピンドル上のルーラーを使用するか、右端から側面プレートまでの距離を測定することで行うことができます。

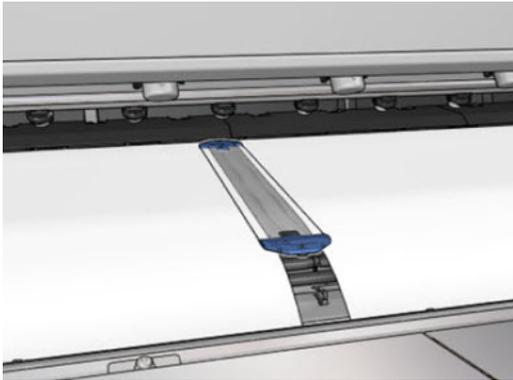
 **注記**：スピンドルの中心を示す目印の両側にある線を使用して、両方のロールの両端を揃えることをお勧めします。



 **注記**：素材送りセンサーは、素材で覆う必要があります。

10. 素材のテンションが均一で平ら(しわや凹凸がない状態)な場合、粘着テープで空の各芯に取り付けます。まず中央にテープを貼り付けてから左右の側に貼り付けることで、素材が引っ張られすぎたり、しわが残ったままにならないようにします。

11. 素材のエッジホルダーを使用する場合は、素材のエッジホルダー4つを所定の位置に置き、前面から取り付けます。



12. 前面ドアと硬化モジュールを閉じます。
13. 素材のエッジホルダーを使用する場合は、素材のエッジホルダーを取り付けます。
14. 取り付けテーブルを閉じます。
15. スピンドルのディファレンシャルのロックが解除されていることを確認します。
16. Internal Print Server を使用して、キャリッジビームを印刷位置まで下げます。
17. Internal Print Server に移動し、**完了** ボタンをタップします。プリンタのロールが回転し、直径、ロールの幅、巻き取り方向、バキューム、素材送りのキャリブレーションが確認されます(約1分かかります)。

 **注記：**一部の素材(透明な素材など)については、この方法を使用したプリンタによる測定ができません。このような場合は、Internal Print Server の[左端]フィールドと[幅]フィールドに手動で入力するように求められます。これらの値を確認するには、スピンドルのルーラーを使用します。

これでプリンタの印刷準備ができました。

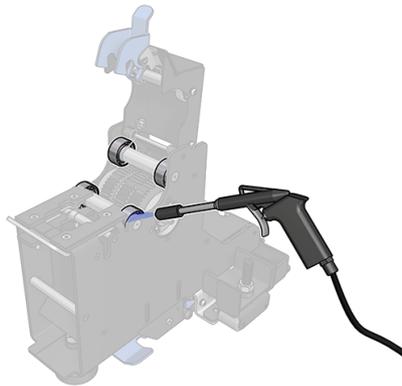
5 セントラル サポートの保守

セントラル サポートは、素材を 50,000 メートル プリントするたびに一定の保守が必要です。

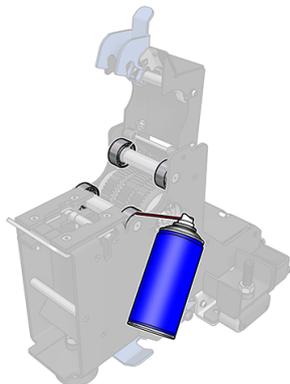
セントラル サポート ベアリングのクリーニングと注油

この手順の最初から最後まで、手袋と保護メガネを着用することをお勧めします。

1. Internal Print Server に移動して、**[素材の取り外し]**を選択します。
2. スピンドルをプリンターから取り外します。
3. セントラル サポート ラッチを開き、エア ガンを使用して4つのベアリングをクリーニングします。ベアリングにほこりや細かい金属の削りくずが付着しないようにしてください。



4. 多目的潤滑スプレーを使用して4つのベアリングに注油し、錆や腐食から保護します。



6 デュアルロールスピンドルの仕様

このトピックには、このテーマのリファレンス情報がすべて掲載されています。

表 6-1 デュアルロールスピンドルの仕様

特性	仕様
ロールの最小幅	635 mm
ロール紙の最大幅	2 × 1.52m
ロール間の最小間隔	134 mm
ロール紙の最大直径	400 mm
2つのロールの最大総重量	2 × 200 kg